

『伊水温故』の刊行に際して

上野市長 今 中原 夫

『永保記事略』・『廳事類編』・『宗国史』に続いて、今回『伊水温故』を刊行することになりました。

『伊水温故』は、伊賀が産んだ江戸初期の偉才菊岡如幻翁の数多い編著の中の一つで、伊賀国内の神社・仏閣・史蹟を網羅し、その由来縁起・伝記等を詳細に記述しています。それらの中には、時代の推移と興廢のため、既にその跡をとどめないものも多く記録されており、江戸期の貴重な伊賀古地誌であります。

著者が『伊水温故』と題してこれを編纂されたのは、こうした変遷興亡の中で、故きを温ねその由緒を正して、永く後世に伝えることにあつたと思われまふ。従つて、これを復刻出版して広く世に出すことは、著者の意に副う有意義な事業であると信じます。

この著者自筆の原本四冊は、幸い完全な形で約三百年を伝承され、昨年その保管を当市に寄託されました。今回の刊行はこの原本を底本とし、あくまで原本に忠実に、振り仮名・送り仮名・返り点等も原本どおり付記しましたので、大方の一般読者に読解いただきやすく、郷土史研究の資としても活用いただけると幸いです。

七頁

(内容見本)

上野城郭附城下ノ町發起

和州ノ刺史筒井順慶者南京衆徒ノ連族猶淨妙法師明春ガ曾流ニシテ 尤至剛ナルガ故ニ武光世上ニ朗也 元龜ノ比及於ニ和陽數箇ノ郷庄ヲ領シ産生之地筒井ノ庄ニ爲ニ寛厚ニ安堵セリ 其甥平等坊四郎藤原定次ハ同國之士卒ト云 且ハ衆徒ノ員數ナルニ依テ猶子ニナシテ領邦ヲ讓任ニ國政一 順慶薨去ノ後大閤秀吉公ニ昵近シ 天正十二年ニ爲ニ伊陽國守一任ニ從四位下侍從一 迅ニ上竺之驛ニ入來シ 仁木友梅ノ鋪地フ成テ号ニ羽柴伊賀守豊臣朝臣定次一 而後數千ノ役夫ヲ催平樂寺藥師寺ニケ圍 假ニ草館ヲ造立シ屢 此ニ幽栖ス 而後數千ノ役夫ヲ催平樂寺藥師寺ニケ場ノ荒地フ點シ 文祿年中ニ一城ヲ造畢ス 三層ノ高樓ヨリ内外ノ曲輪要害太敵重也 郭街ニハ華肆ヲ飾テ賑ヲナス雖 然 家康公ノ背命定次身上既ニ沈淪シ 慶長十三天六月ニ東関被レ謫ニ岩城一當時藤堂和泉守高虎与州今治ノ辭ニ領

七